

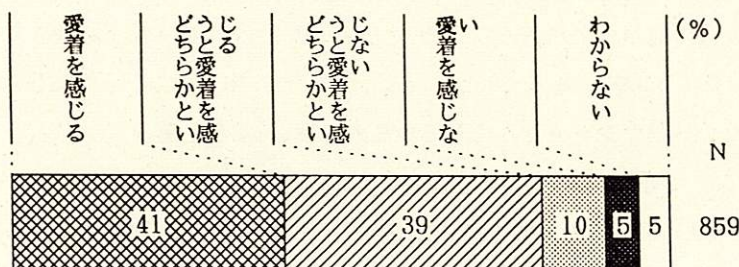
9. 地域交流

9-1. 地域に対する愛着度

◎80%の人が愛着を示している。

問26 あなたは、現在住んでいる地域に愛着を感じていますか。

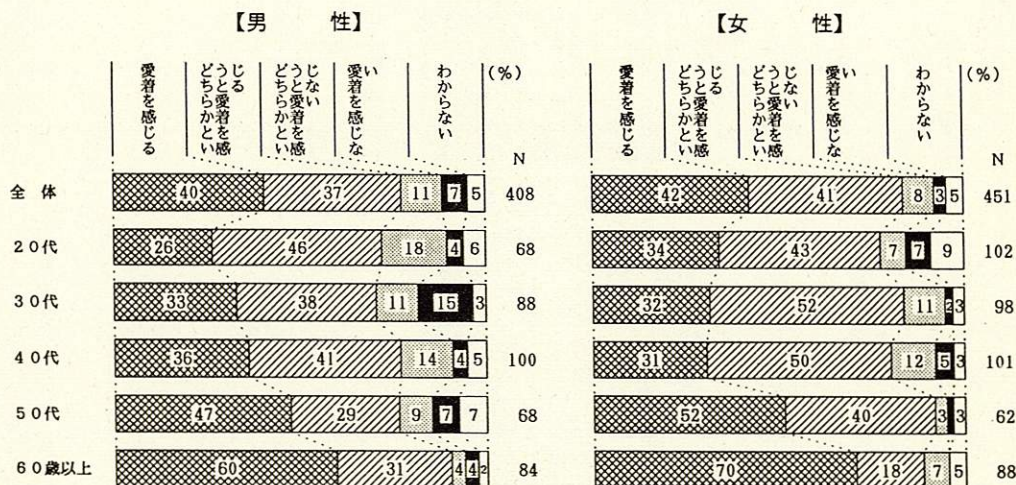
図9-1



現在住んでいる地域に「愛着を感じる」という人は41%、「どちらかという愛着を感じる」という人は39%、「どちらかという愛着を感じない」という人は10%、「愛着を感じない」という人は5%、また「わからない」という人は5%である。合わせて、80%の人が現在住んでいる地域に「愛着」を示している（図9-1）。

現在住んでいる地域への愛着は、男性よりも女性のほうが比較的強くなっている（図9-2）。地域への愛着を強く示している年齢層は、「愛着を感じる」、「どちらかといえば愛着を感じる」という人を合わせると男性では60歳以上で、女性では50歳代で90%を超える。また、60歳代以上の女性では、「愛着を感じる」という強い意見を示す人が70%になっている。男女とも、若年層では「愛着」は比較的弱くなっている。30歳代の男性では、「愛着を感じない」という強い意見が15%に達していることが注目される（図9-2）。

図9-2 性別・性年齢別 地域に対する愛着度



ライフステージ別では、家族が成熟するにつれて「愛着」が強くなっている（図9-3）。

職業別では、もっとも愛着が強いのは、家族従業（91%）、次いで自営業主（86%）、専業主婦（84%）であり、とくに家族従業と自営業主では半数以上の人「愛着を感じる」という強い意見を表明している。それと比べて、勤め人層では愛着は弱くなっている（図9-4）。

住居形態別で見ると、もっとも愛着が強いのは、一戸建の持ち家に住んでいる人（88%）である。この人たちだけで「愛着を感じる」という強い意見が50%を上回っている。次に、公団、公社、公営の賃貸住宅に住んでいる人（86%）が続いている。愛着をあまり示していないのは、社宅・寮に住んでいる人（38%）と民間のアパート・マンションに住んでいる人（30%）である。また、分譲マンションに住んでいる人では、「愛着を感じない」という強い意見を表明する人（15%）が前二者よりも多い（図9-5）。

図9-3 ライフステージ別 地域に対する愛着度

図9-4 職業別 地域に対する愛着度

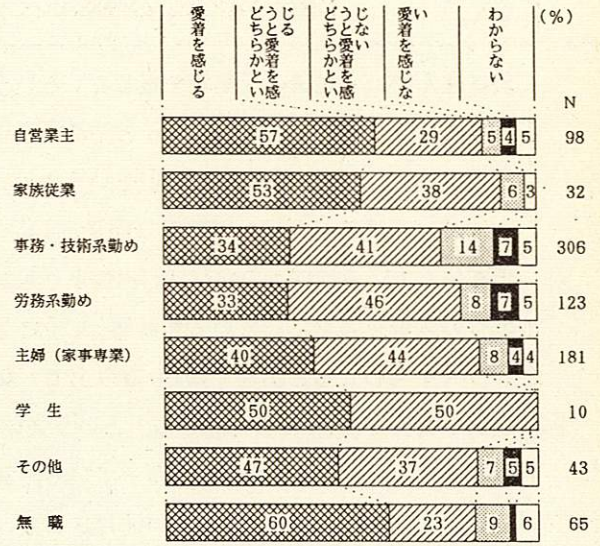
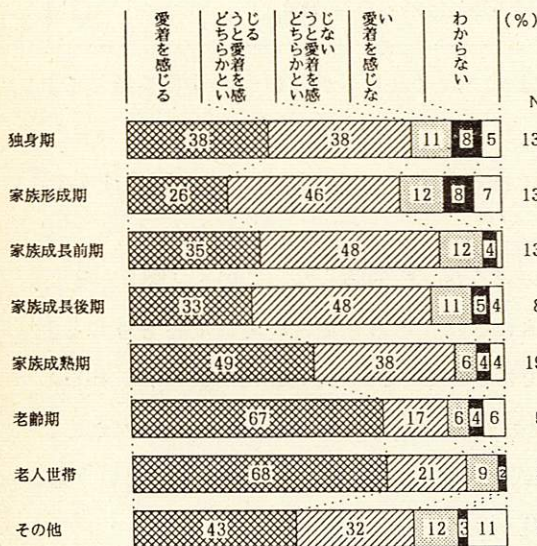
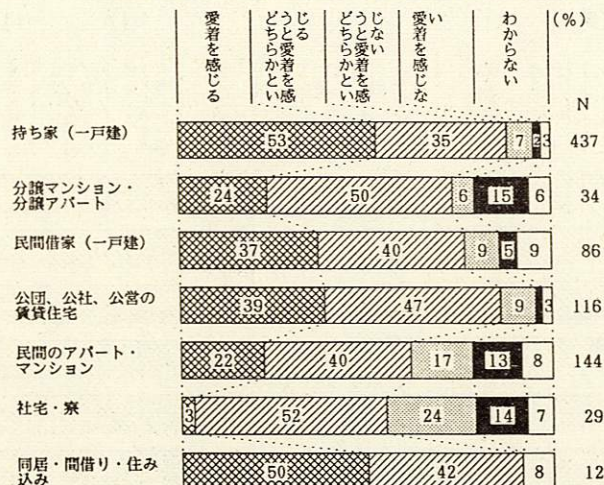


図9-5 住居形態別 地域に対する愛着度



通勤・通学地との関係では、23区以外の都内及び福生市内という人で愛着が強く、都内23区という人でいく分弱くなっている（図9-6）。

また、昭和30年代にはもう福生市に住んでいた人と昭和50年代以降に住み始めた人の間には、地域への愛着の違いがはっきりと認められる（図9-7）。

地区別では、AブロックとGブロック（86%）で愛着を示す人が多くなっている。「愛着を感じる」という強い意見が40%を超えているブロックは、B、D、E、Fの各ブロックである（図9-8）。

図9-6 通勤・通学地別 地域に対する愛着度

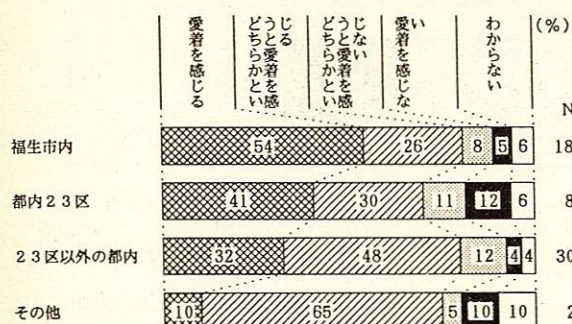


図9-7 居住年数別 地域に対する愛着度

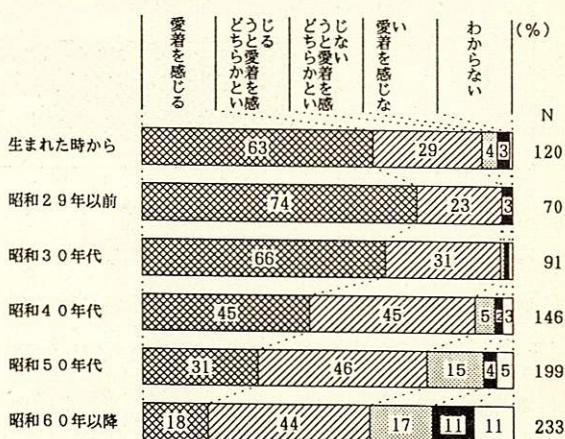
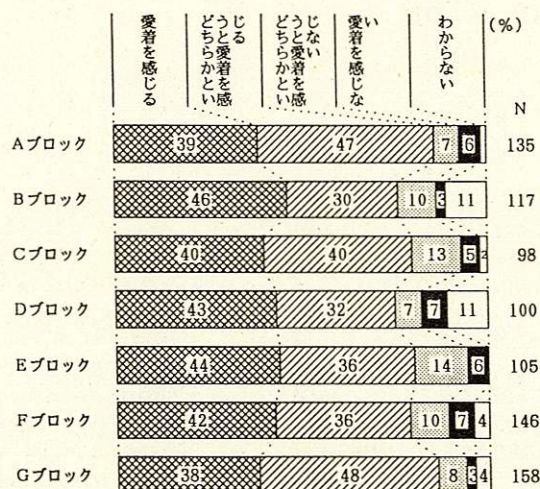


図9-8 地区別 地域に対する愛着度

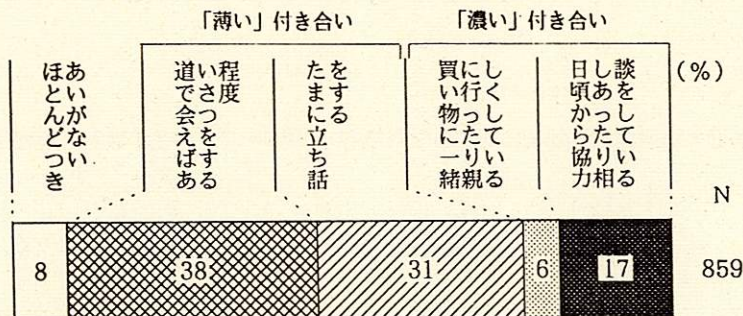


9-2. 近隣との付き合いの程度

◎「道で会えばあいさつをする程度」という人が38%、「たまに立ち話をする」という人が31%。

問27 あなたは普段、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。この中から1つだけ選んでください。

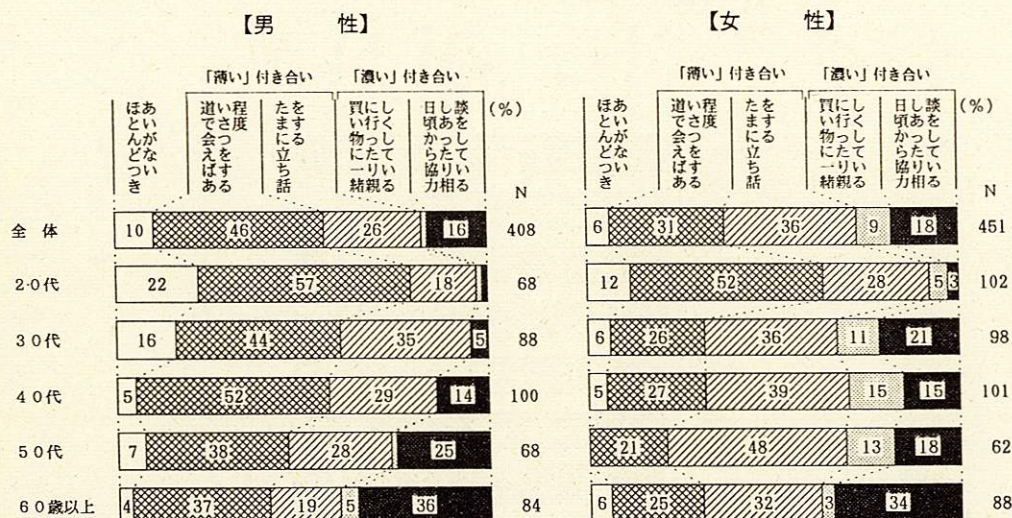
図9-9



普段、隣近所と、「ほとんどつきあがない」という人は8%、「道で会えばあいさつをする程度」という人は38%、「たまに立ち話をする」という人は31%、「買い物に一緒に行ったり親しくしている」という人は6%、「日頃から協力しあったり相談をしている」という人は17%であった。「薄い」付き合いをしている人が69%、「濃い」付き合いをしている人が23%になる(図9-9)。

男女別では、女性のほうが近隣との付き合いは「濃い」。とくに「濃い」付き合いだけをみると、女性では男性より10ポイント以上多くなっている(図9-10)。

図9-10 性別・性年齢別 近隣との付き合いの程度



隣近所とは「ほとんどつきあいが無い」という人は、男女とも若年層に多い。とくに20歳代の男性では、「ほとんどつきあいが無い」という人が22%いる一方で、「買い物に行ったり……」と「日頃から協力しあったり……」を合わせても3%にしかない。隣近所とは「日頃から協力しあったり相談をしている」という人がもっとも多いのは、男女とも60歳代以上である（図9-10）。

ライフステージ別では、独身期および家族の成熟の初期では「濃い」付き合いは少ないが、家族の成熟とともに増えてくる。しかし、老人世帯では老齢期に比べて少ない。「ほとんどつきあいが無い」という人は、独身期では20%と多いが、家族成長前期以降ではほとんど見られなくなる。しかし、老齢期から増加が見られ、老人世帯では6%になっている（図9-11）。

住居形態別では、一戸建の持ち家に住んでいる人（30%）で「濃い」付き合いが多くなっている。少ないのは、民間アパート・マンションに住んでいる人（8%）である。隣近所と「ほとんどつきあいが無い」という人が多いのは、社宅・寮に住んでいる人（28%）と民間のアパート・マンションに住んでいる人（21%）である（図9-12）。

図9-11 ライフステージ別
近隣との付き合いの程度

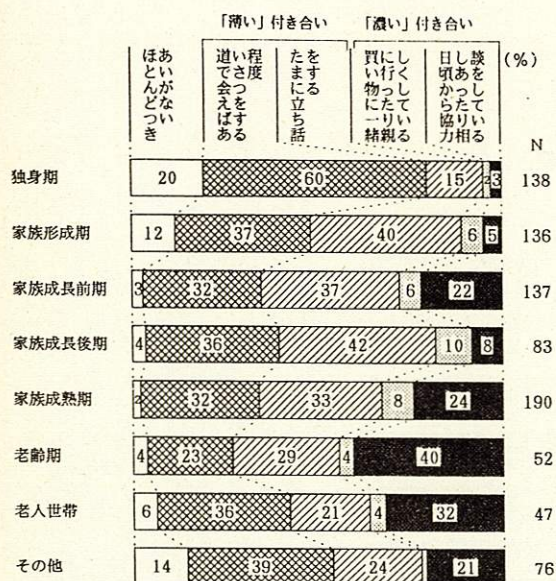
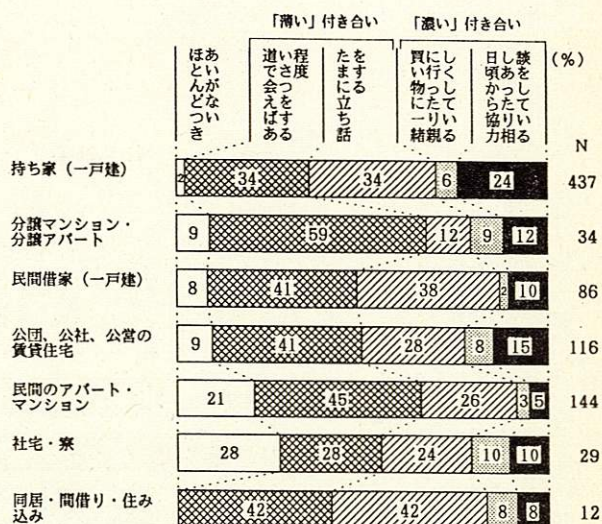


図9-12 住居形態別
近隣との付き合いの程度



通勤・通学地との関係では、福生市内に通勤・通学している人で、とくに都内23区に通勤・通学している人と比べて、目立って「濃い」付き合いが多くなっている（図9-13）。

居住年数別では、年数が増えるとともに「濃い」付き合いが増えており、昭和29年以前に福生市に住んでいた人では、50%近い人が「濃い」付き合いを答えている。昭和60年以降に住み始めた人では、18%の人が「ほとんどつきあいが無い」と答えているが、これ（実数：43人）は「ほとんどつきあいが無い」という人の半数以上に当たる（図9-14）。

図9-13 通勤・通学地別 近隣との付き合いの程度

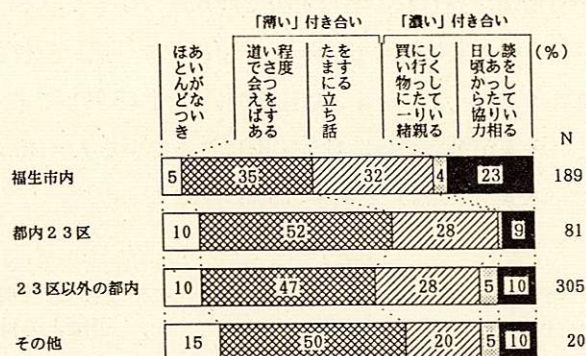
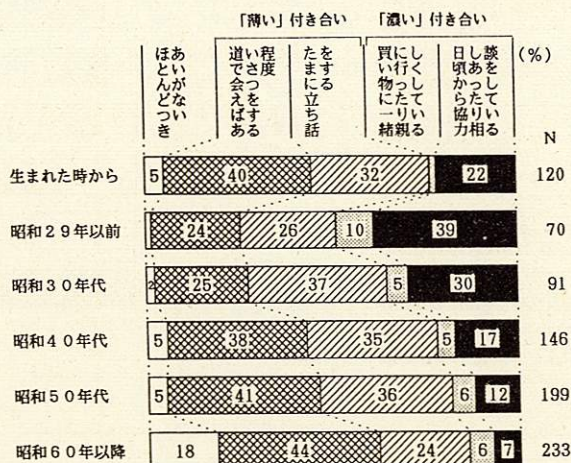


図9-14 居住年数別 近隣との付き合いの程度



9-3. 地域社会に対する考え方

◎地域社会に対しては積極的な考え方が認められる。

問28 地域における人とのつきあいや、地域社会とのかかわりについて、次のような考え方がありますが、あなたは、それぞれの考え方に対しどのように思われますか。次の項目のそれぞれについてお答えください。

図9-15-①

①緊急のとき隣近所をあてにできない



図9-15-②

②支障ない範囲なら隣人の手助け当然

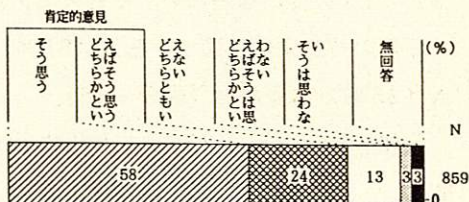


図9-15-③

③地域活動は余裕のある人等に任せる

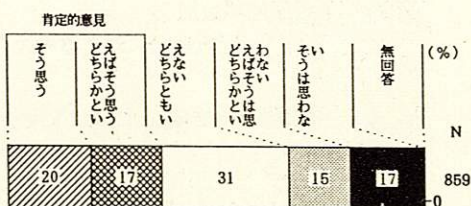


図9-15-④

④地域活動は勤めの男女とも参加すべき

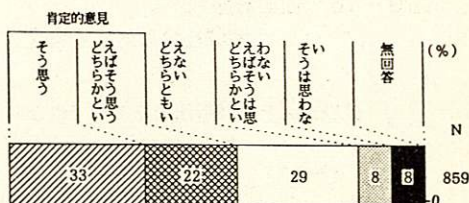


図9-15-⑤

⑤地域社会の向上が生活の向上になる

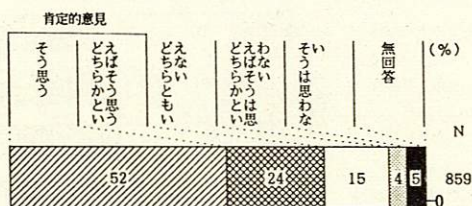
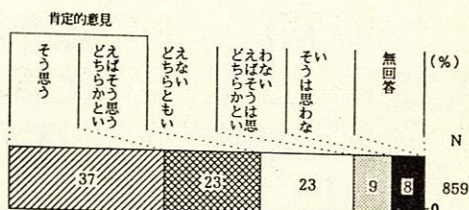


図9-15-⑥

⑥地域社会のため生活制限されたくない



① 緊急のとき

「緊急のとき隣近所をあてにできない」という意見に対して、「そう思う」と答えた人は17%、「どちらかといえばそう思う」と答えた人は13%、「どちらともいえない」という人は20%、「どちらかといえばそうは思わない」と答えた人は18%、「そうは思わない」と答えた人は32%である。併せて30%の人が緊急のときに隣近所を「あてにできない」と考えており、50%の人があてにできると考えている（図9-15-①）。

住居形態別では、社宅・寮に住んでいる人（20%）と一戸建の持ち家に住んでいる人（23%）で、「あてにならない」と考える人が少なくなっている。あてになると考えている人は、一戸建の持ち家に住んでいる人（61%）に多く、民間のアパート・マンションに住んでいる人（25%）に少ない（図9-16）。

居住年数別では、昭和50年代以降に福生市に住み始めた人とそれ以前から住んでいる人の間に、「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」という答えに関してははっきりとした違いが認められる。「あてにできない」と考えている人に関してはそれほど違いはない（図9-17）。

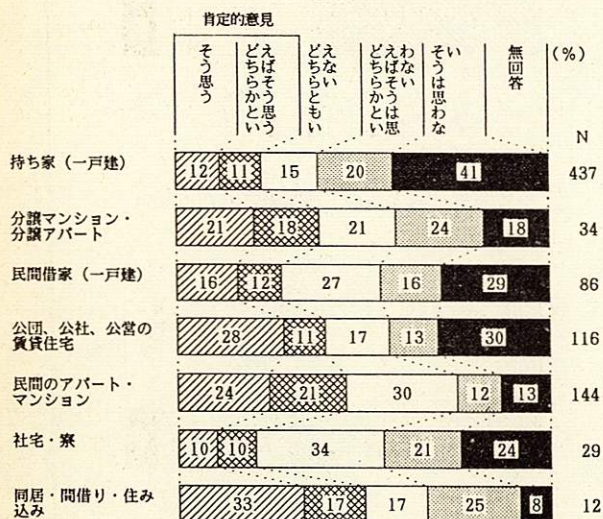
図9-16 住居形態別

地域社会に対する考え方

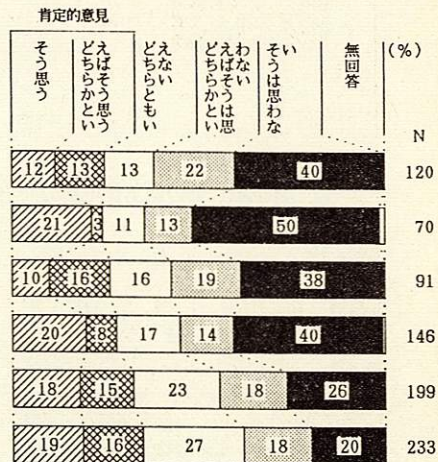
図9-17 居住年数別

地域社会に対する考え方

①緊急のとき隣近所をあてにできない



①緊急のとき隣近所をあてにできない



② 隣人への手助け

「支障ない範囲なら隣人の手助けは当然」とであるという意見に対して、「そう思う」という人は58%、「どちらかといえばそう思う」という人は24%、「どちらともいえない」という人は13%、「どちらかといえばそうは思わない」という人は3%、「そうは思わない」という人は3%であった。合わせて82%の人が「隣人の手助けは当然」という意見を肯定していることになる(図9-15-②)。

ライフステージ別では、「隣人の手助けは当然」という人は老人世帯(94%)にもっとも多く、独身期(75%)にもっとも少ない。また、老人世帯(81%)と老齢期(75%)では、「そう思う」という強い肯定が目立っている(図9-18)。

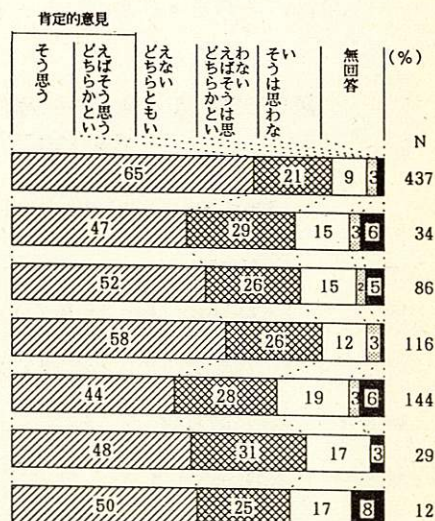
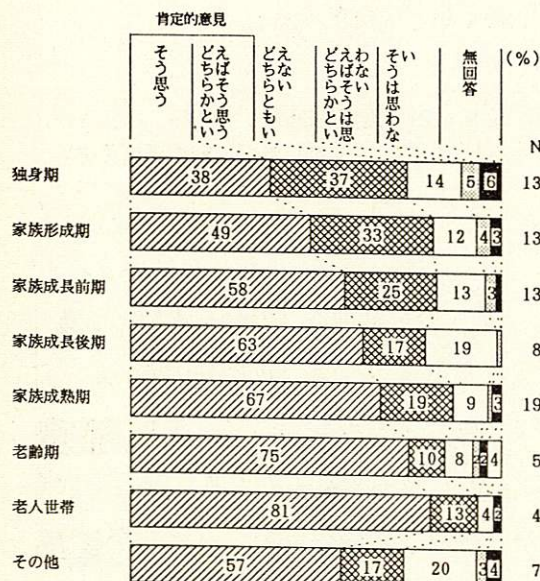
住居形態別では、民間のアパート・マンションで、「隣人の手助けは当然」という人は72%とやや少ない(図9-19)。

図9-18 ライフステージ別
地域社会に対する考え方

図9-19 住居形態別
地域社会に対する考え方

②支障ない範囲なら隣人の手助け当然

②支障ない範囲なら隣人の手助け当然



③ 地域活動の担い手

「地域活動は余裕のある人等に任せる」という意見に対して、「そう思う」という人は20%、「どちらかといえばそう思う」という人は17%、「どちらともいえない」という人は31%、「どちらかといえばそうは思わない」という人は15%、「そうは思わない」という人は17%である。肯定的な意見を持つ人が合わせて37%、否定的な意見を持つ人が32%ということになる（図9-15-③）。

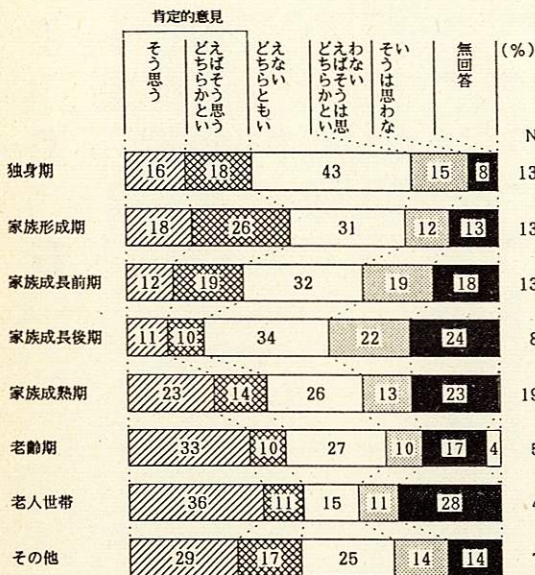
ライフステージ別では、肯定的な意見が多いのは老人世帯（47%）と家族形成期の人（44%）であり、目立って少ないのは家族成長後期の人（21%）である。高齢期以降のライフステージでは「そう思う」という強い肯定が多く、30%を上回っている。否定的な意見は家族成長後期（46%）に多く、老人世帯（39%）がこれに次ぐ。「どちらともいえない」という答えは独身期の人（43%）にとくに多いが、家族の成熟とともに減少していく傾向を見せている（図9-20）。

住居形態別で、肯定的な意見がもっとも多いのは、公団・公社・公営の賃貸住宅に住んでいる人（47%）である。民間のアパート・マンションに住んでいる人では否定的な意見（22%）が目立って少ない。また、民間のアパート・マンション（41%）と社宅・寮（38%）では「どちらともいえない」と答える割合が高くなっている（図9-21）。

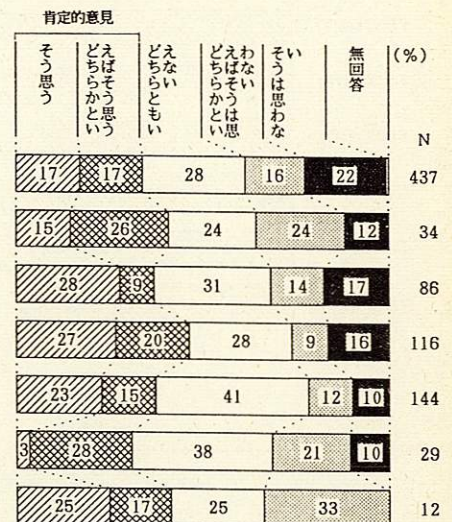
図9-20 ライフステージ別
地域社会に対する考え方

図9-21 住居形態別
地域社会に対する考え方

③地域活動は余裕のある人等に任せる



③地域活動は余裕のある人等に任せる



④ 地域活動は勤めの男女とも参加すべきか

「地域活動は勤めの男女とも参加すべき」とであるという意見に対して、「そう思う」という人は33%、「どちらかといえばそう思う」という人は22%、「どちらともいえない」という人は29%、「どちらかといえばそうは思わない」という人は8%、「そうは思わない」という人は8%である。肯定的な態度を取る人は55%、否定的な態度を取る人は16%ということになる(図9-15-④)。

男女とも、若年層では肯定的な答えは少なく、年齢が上昇するにつれて増えている。否定的な答えが多いのは、30歳代の男性と20歳代の女性(いずれも26%)である(図9-22)。

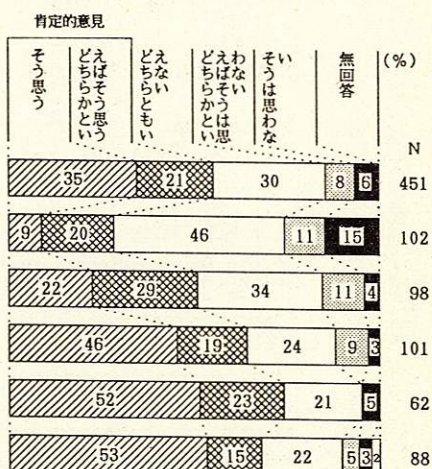
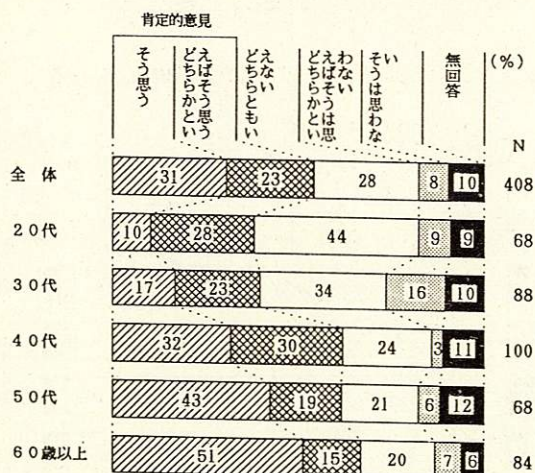
図9-22 性別・性年齢別 地域社会に対する考え方

【男 性】

【女 性】

④地域活動は勤めの男女とも参加すべき

④地域活動は勤めの男女とも参加すべき



⑤ 地域社会の向上と生活の向上

「地域社会の向上が生活の向上になる」という意見に対して、「そう思う」という人は52%、「どちらかといえばそう思う」という人は24%、「どちらともいえない」という人は15%、「どちらかといえばそうは思わない」という人は4%、「そうは思わない」という人は5%である。地域社会の向上=生活の向上という「一致派」が76%、地域社会の向上≠生活の向上という「不一致派」が9%である（図9-15-⑤）。

男女とも、一致派は年齢の上昇とともに増えているが、女性の場合、40歳代で少なくなっている。もっとも多いのは60歳以上の男性（88%）である。また、40歳代の女性（17%）では、不一致派が目立っている。「どちらともいえない」という答えは男女とも年齢が上がるとともに減っている（図9-23）。

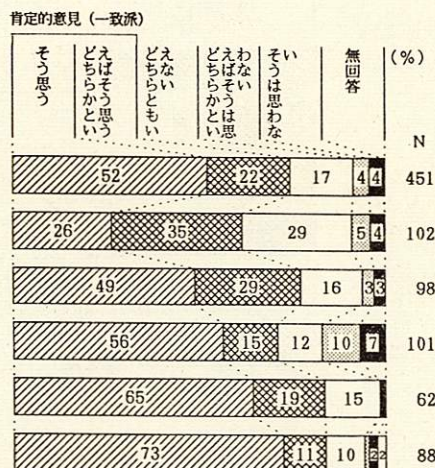
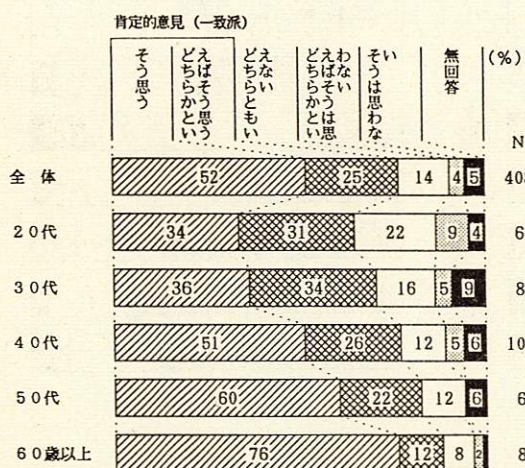
図9-23 性別・性年齢別 地域社会に対する考え方

【男 性】

【女 性】

⑤地域社会の向上が生活の向上になる

⑤地域社会の向上が生活の向上になる



⑥ 地域社会による生活の制限

「地域社会のために生活を制限されたくない」という意見に対して、「そう思う」という人は37%、「どちらかといえばそう思う」という人は23%、「どちらともいえない」という人は23%、「どちらかといえばそうは思わない」という人は9%、「そうは思わない」という人は8%である。合わせて60%の人が地域社会のために生活を制限されたくないという意見を支持している(図9-15-⑥)。

肯定的意見の場合、男性では年齢による違いはそれほど見られない。女性では、60歳以上(68%)と20歳代(68%)に多く、40歳代(51%)に少ない。否定的意見については、男女ともに年齢が上がるにつれて増加している傾向が見られるが、女性の場合は、60歳代以上でまた減少している。「どちらともいえない」という答えは、男女とも若年層に多く、とくに20歳代の男性(31%)で目立っている(図9-24)。

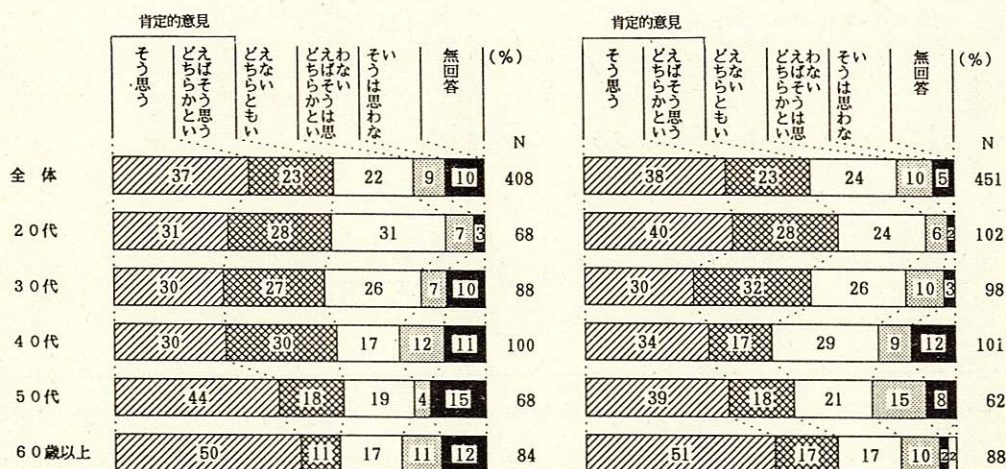
図9-24 性別・性年齢別 地域社会に対する考え方

【男 性】

【女 性】

⑥地域社会のため生活制限されたくない

⑥地域社会のため生活制限されたくない



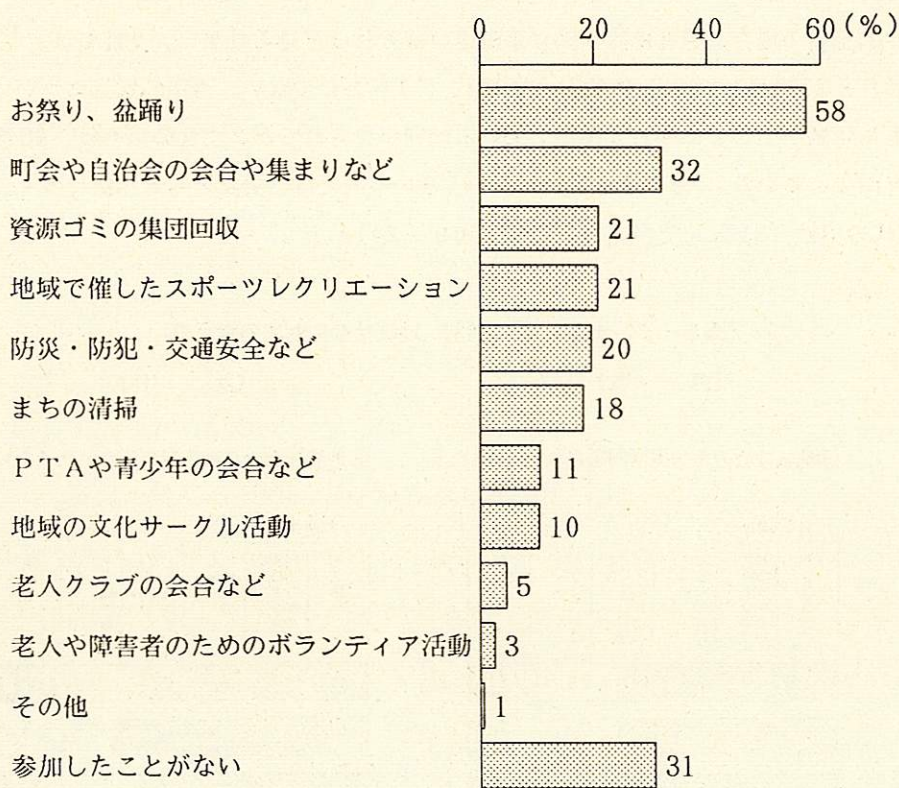
9-4. 過去1年間の地域活動・行事への参加

◎1位：お祭りや盆踊り、2位：町会や自治会の会合。

問29 あなたは、この1年間に地域で行われた次の活動や行事に参加したことがありますか。参加したことがあるものをいくつでもあげてください。

図9-25

N = 859



過去1年間に参加したことがある地域活動や行事を多かった順に挙げていくと、①「お祭り、盆踊り」(58%)、②「町会や自治会の会合や集まりなど」(32%)、③「資源ゴミの集団回収」、④「地域で催したスポーツレクリエーション」(21%)、⑤「防災・防犯・交通安全など」(20%)、⑥「まちの清掃」(18%)、⑦「PTAや青少年の会合など」、「地域の文化サークル活動」(11%)、⑧「老人クラブの会合など」(5%)、⑨「老人や障害者のためのボランティア活動」(3%)となる。「参加したことがない」という人は31%である(図9-25)。

表9-1は過去1年間の地域活動、行事への参加を属性別で上位5位までまとめたものである。まず、地区別でみると、「お祭り」がどのブロックでも第1位となっているが、とくにE、F、Gブロックでは60%を超えている。

また、男女とも「お祭り」が第1位だが、男性53%、女性61%とその比率は女性の方が多くなっている。性・年齢別でみると、30歳代女性では、「スポーツ・レクリエーション」が36%で第2位を占めているのが注目される。

職業別では、全職種にわたって、「お祭り」が最も多くなっているが、とくに家族従業で75%という高率となっている。

表9-1 属性別 過去1年間の地域活動・行事への参加（上位5位）

(%)

（％）

属性別		順位	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位		
地区別	A ブ ロ ッ ク	お 祭 り	51.1	町会・自治会	34.1	まちの清掃	21.5	スポーツレク	20.0	ゴミ回収	18.5		
	B ブ ロ ッ ク	〃	53.0	〃	38.5	ゴミ回収	29.9	防災・交通安全	24.8	まちの清掃	23.9		
	C ブ ロ ッ ク	〃	58.2	〃	26.5	スポーツレク	25.5	〃	17.3	文化サークル、 まちの清掃	15.3		
	D ブ ロ ッ ク	〃	50.0	〃	25.0	〃	21.0	まちの清掃	20.0	ゴミ回収	19.0		
	E ブ ロ ッ ク	〃	62.9	〃	33.3	ゴミ回収	25.7	スポーツレク	22.9	防災・交通安全	21.0		
	F ブ ロ ッ ク	〃	63.7	〃	33.6	防災・交通安全、スポーツレク			21.9	ゴミ回収	15.1		
	G ブ ロ ッ ク	〃	61.4	〃	30.4	ゴミ回収	24.1	防災・交通安全	18.4	まちの清掃	17.1		
性別	男 性	お 祭 り	53.4	町会・自治会	33.1	防災・交通安全	20.6	ゴミ回収	19.6	まちの清掃	18.9		
	女 性	〃	61.2	〃	30.8	スポーツレク	23.7	〃	22.2	防災・交通安全	18.8		
性 年 別	男 性	20 歳 代	お 祭 り	38.2	町会・自治会、防災・交通安全、スポーツレク				8.8	文化サークル、 PTA	4.4		
		30 歳 代	〃	52.3	町会・自治会	20.5	スポーツレク	17.0	ゴミ回収	14.8	まちの清掃	13.6	
		40 歳 代	〃	54.0	〃	35.0	〃	24.0	〃	23.0	〃	18.0	
		50 歳 代	〃	57.4	〃	42.6	防災・交通安全	30.9	〃	29.4	〃	27.9	
		60 歳 以上	〃	63.1	〃	56.0	〃	35.7	まちの清掃	32.1	ゴミ回収	26.2	
	女 性	20 歳 代	お 祭 り	53.9	スポーツレク	7.8	町会・自治会、文化サークル			5.9	防災・交通安全	3.9	
		30 歳 代	〃	73.5	〃	35.7	ゴミ回収	32.7	町会・自治会	29.6	P T A	22.4	
		40 歳 代	〃	63.4	町会・自治会	47.5	〃	34.7	防災・交通安全、まちの清掃			29.7	
		50 歳 代	〃	61.3	〃	48.4	まちの清掃	29.0	防災・交通安全	27.4	ゴミ回収	24.2	
		60 歳 以上	〃	53.4	〃	29.5	老人クラブ	26.1	スポーツレク	25.0	まちの清掃	21.6	
	職 業 別	自 営 業 主	お 祭 り	61.2	町会・自治会	46.9	ゴミ回収	30.6	防災・交通安全、スポーツレク				26.5
		家 族 従 業	〃	75.0	〃	50.0	〃	43.8	スポーツレク	34.4	防災・交通安全	31.3	
事務・技術系勤め		〃	51.3	〃	26.5	スポーツレク	18.3	ゴミ回収	17.6	防災・交通安全、 まちの清掃	14.4		
労 務 系 勤 め		〃	54.5	〃	28.5	防災・交通安全	19.5	まちの清掃	17.1	ゴミ回収	16.3		
主婦（家事専業）		〃	63.5	〃	30.4	スポーツレク	28.7	ゴミ回収	22.7	防災・交通安全	21.0		
無 職		〃	47.7	〃	36.9	防災・交通安全	23.1	まちの清掃、老人クラブ				21.5	